



修刀館 第4代館長
足立 幸信 さん

感謝の気持ちを言葉に出すんです。このようなあいさつの他にも、道具の整理整頓や相手を思いやる気持ちなど、剣道を通して、人として大切なことを多く学ぶことができます」

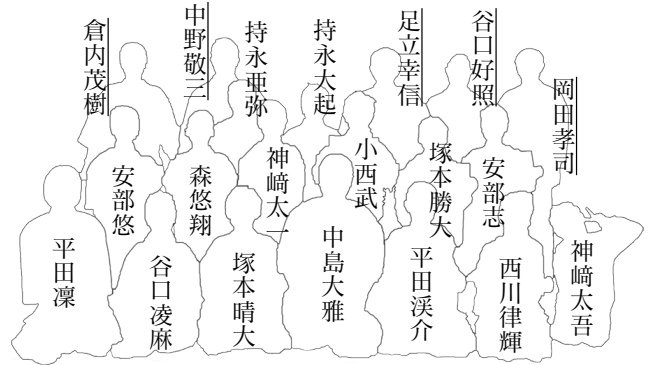
■ 日々の稽古で培われる礼節

足立館長は剣豪宮本武蔵の著書『五輪書』にある「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす」を引用し、日々の稽古の重要性を説く。『千鍛万練』という言葉のとおり、剣道を通して学ぶことができる礼節は、日々の稽古で身に付きます。子どもたちにとってはまだ難しい部分があるかも知れませんが、大切な部分はしっかりと教え、いつかその意味がわかってくれると思います。指導にあたっては、将来的には、桂川町のために活躍できる人物になってほしいですね」と稽古中の門下生を見て笑顔を見せる。

40年間受け継いできた想いを受け、更なる高みへとまい進する桂川町修刀館。たゆまぬ「千鍛万練」のその先に、人間形成の道が続いている。

introduction 門下生・指導者紹介

(名前に傍線がある方は指導者)



写真掲載外… 森遥陽、諫山裕一斗

interview 剣道を通して学んでほしいこと・学んだこと



修刀館 指導者
中野 敬三 さん

剣 道のすばらしさは、「忍耐」に「姿勢が正しいりりしい姿」が身につくことです。礼儀を学び、感謝・思いやりがある人へと成長してほしいですね。今後も厳しさの中にも愛情がこもった指導をしたいと思っています。



修刀館 保護者会
塚本 理恵 会長

小 学校6年生と小学校3年生の息子が参加しています。上の子は主将に任命されたこともあってか、色々なことに積極的になったように感じますね。本人が言うには、剣道を始めてから集中力も増えて、勉強もはかどっているようです。



修刀館 OB
嘉穂高等学校 剣道部 前主将
穂坂 朋洸 くん

修 刀館では、技術だけでなく礼儀作法など多くのことを学びました。初対面の人にも自信をもってあいさつができるなど、日々の生活でも修刀館で学んだことが生きていると感じています。



修刀館
塚本 晴大 主将

稽 古はきついついときもありますけど、試合で上手く技が決まったときは、稽古の成果が出た気がして嬉しいです。稽古は稽古、遊びは遊びとメリハリをつけることができるようになったのも、修刀館で学べたことだと思っています。